

活動状況のお知らせ

8月 活動報告		9月 活動報告	
3	火 労務管理講習会	3	金 感謝まつり実行委員会
4	水 デイハウスあかりボラ体験受け入れ		デイ定例会(通)
6	金 デイ定例会(通)・NPOと行政の意見交換会(市)	6	月 プロジェクト見学会(第2回)
9	月 企画会議・感謝まつり実行委員会(第5回)	8	水 ヘルパー部会(市)
10	火 デイ食事定例会(通)		担当者会議(訪)
	認定調査員現任者研修(居)	12	日 あかり感謝まつり
12	木 運営委員会	13	月 企画会議
13	金 お盆おやすみ/おいで屋 13~18日/事務所 13~16日	14	火 デイ食事定例会(通)
16	月 地域保健福祉パイオニア研修会(県)	16	木 傾聴定例会
17	火 女と男のつどい実行委員会(市)	17	金 運営委員会・子育て支援研修部会(市)
	市民参画推進懇話会(市)		あかり感謝まつり反省会
18	水 西浦北保育園来訪(通)	18	土 研修会(訪)
19	木 サービスラーニング(福祉大2名)	21	火 女と男のつどい実行委員会(市)
20	金 介護保険三事業所実地指導(県)	22	水 倉庫改修プロジェクト(第3回)
	サービスラーニング(福祉大2名)		担当者会議(訪)
21	土 日福大 末盛先生来訪	24	金 理事会
23	月 デイ部会(市)	27	月 サポートちた理事会
24	火 プロジェクト見学会(第1回)	29	水 ふれあいサロン情報交換会(市)
25	水 ケアマネ部会(市)・男女共同参画懇話会(市)	30	木 防災訓練
	社労士来訪・サービスラーニング(福祉大2名)		市民参画推進懇話会(市)
26	木 サービスラーニング(福祉大2名・赤松先生)		
27	金 サービスラーニング(福祉大2名)・担当者会議(訪)		
	感謝まつり実行委員会(第6回)・自立支援作業部会(市)		

		8月	9月	
たすけあい活動	活動時間	在宅	131時間	126時間
		移動	195時間	194時間
	利用者数	在宅	32件	3件
		移動	49件	44件
弁当利用者数		180名	180名	
訪問介護	利用時間	779時間	760時間	
	利用者数	63名	62名	
居宅介護支援	利用者数	37名	40名	
デイハウスあかり	利用者延数	153名	162名	
障害福祉等サービス	利用時間	188時間	196時間	
	利用者数	18名	21名	
おいで屋	参加人数	307名	368名	
なごみ舎	参加人数	63名	59名	
傾聴ボランティア	利用者数	33名	32名	

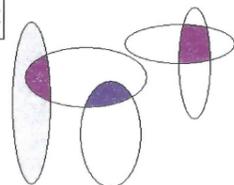
賛助会員 (10月25日現在)

尾崎 治子 中村 照代
ありがとうございます。
みなさまの温かいご支援があかりを支えます。
これからもよろしくお願ひいたします。

ご寄付をありがとうございました

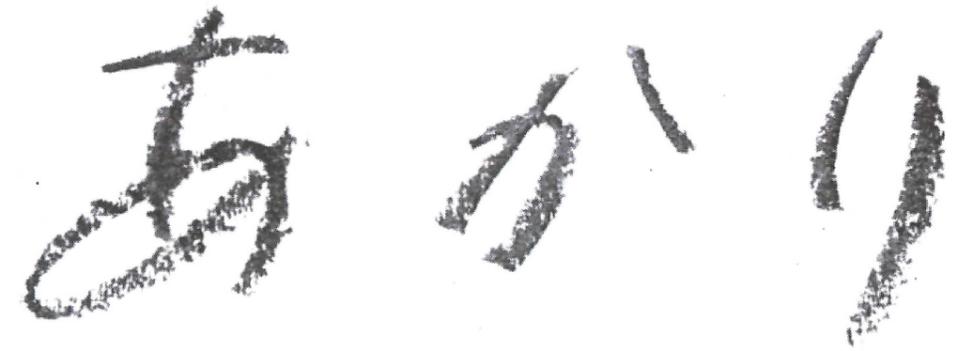
匿名 1名様
大切に使用させていただきます

会員数(8月20日現在)	
正会員	95名
賛助会員	123名+3団体
利用会員	100名
合計	318名+3団体



発行
常滑市塩田町2-135
特定非営利活動法人
あかり
TEL/35-4185
FAX/35-6862
http://akari-npo.jp

2010年10月
56号



第3回感謝まつり〔9月12日(日)〕に今年も大勢の皆さんが参加してくださいました。風が強かったり、寒かったりと困った記憶から、今年は趣向を変えて初秋の開催でと考へましたが・・・思い出に残る夏!!の行事となりました。今年のテーマは「体験」で、日本福祉大学のサービスラーニングであかりに来てくれていた学生さんも参加して、風鈴作りや故郷のお菓子作り、会員の倶楽部の成果をと、民謡や詩吟などの発表や自分で作ったさをり織りの作品を着てのファッションショー、たこ焼き作りやアクリルたわし作りは参加者で大賑わい。見た目の違う初めての介護食は目を閉じて味わう人もいて「見た目は・・・、でも、味はいい」など、感想もいろいろ。真夏のような陽気に、かき氷のサービスが大人気を博し、参加者みんなに振舞った“おにぎりと唐揚げ”に舌鼓。そんなこんなで、みんなが大汗かいて今年も大賑わい。皆さんに楽しんでいただけたでしょうか。さあ！来年はどんな企画で楽しんでもらおうか、でも季節は変えようね。



氷屋さんの旗が見えますか、大賑わいです



こちらが介護食の試食コーナー。見た目、お味をお試しあれ。



厨房では汗を流してから揚げの準備中



今年は提灯を下げ、旗で会場を囲みました。舞台では催し物が盛りだくさん。かわいいお客様もありました。

おいで屋催し物 11月、12月、ご案内 《月曜～金曜/10時から15時までオープン》

土・日・祝日は定休日

●展示 (最終日/14時まで)

心の風景写真展(渡辺 廉作品展) 10月25日(月)～11月19日(金)
都築 遊水(義之)陶芸展 11月22日(月)～12月22日(金)

ちょっと早いですがおいで屋年末年始のお休み/12月23日～1月5日。営業は6日からです。

アイアンマン・ボランティア体験記

濱田 和枝

9月19日に行われた「アイアンマン 70.3 セントレア常滑ジャパン」(長距離を競うトライアスロン)に、何でも面白がり、イベント大好きなあかりメンバー、老若男女27名が団体ボランティアとして参加しました。割り当てられた役割は、ランコースの2か所の給水所(エイドステーション)。そろいの真っ赤なボランティアTシャツを着てなんだかワクワク気分指定場所に移動して。そこでテントを張り、大きなポリペールの飲料水に氷やポカリスエットを溶かし、スポンジや固形食を準備して今か今かと待つことしばし。

みんなの輝く目が見つめる中、すごいスピードで紙コップと冷えたスポンジをわしづかみにして先頭のランナーが通りました。一同の「かっこいい〜」の声を皮切りに、次から次へとてんこ舞いの状態。鍛え抜かれた選手の方々の真剣な姿にふれ、なんだか胸にぐっとくるものがありました。今まで体験したことのない、世界にふれるボランティアを体験し、あかりのチームワークの良さも再認識し、「来年も絶対やろうね〜」「来年は走るぞ〜」「えっ!」「来年もあるの〜?」1週間前の日曜日にも感謝まつりで盛り上ったばかりのメンバーは、暑さも忘れてテンション最高頂。

私も日々関わっている介護保険の業務の日常とは全く違う新鮮さを味わい、大いに満足。さらに、運動不足の自分を振り返り、来年までには少しは変身!と思う次第です。



公開 あかり講演会 **これが私の生きる道** “かがやき” 20年の活動から

地域ボランティアグループ かがやきの代表、近藤京子さんのお話を聞きました。10月16日(土) 常滑市福祉会館の北館で、すでにあかりでは2度、講師をお願いしている元気いっぱい近藤さんをお呼びして今年第2回目のあかり講演会を開催しました。

今回は自身の生い立ちからお話を始められた近藤さん。近江学園創設者の一人 糸賀氏の娘として障害のある子ども達と一緒に、健常者も障害者も分け隔てなく育ち、誰にも対等に平等に対応する、いつもはじけるような笑顔の彼女の原点だと感じました。



研修レポートより、一部

- ◎ボランティアは自分のためにやるもので単独でやっていると独善的になる。団体でやることの意義は大きい。
- ◎常に明るく、笑顔が自然に出る心の豊かさ大きさに感嘆した。ボランティアは自分のため、自分を豊かにすると常に思っていたが、それでいいのだと実感した。
- ◎自らが信じて進んだボランティアの道を継続している偉大さに感心する。
- ◎子どもの頃から近江学園という施設で障害の人たちとごく普通に生活されてきた講師ならではの話しに本物のボランティアの姿を見たような気がした。
 - ・人に迷惑をかけない。けれども困ったときは頼む。
 - ・ボランティアは同情ではなく自分のためにやる。これから折にふれ、このことを思い出していこう。
- ◎人に良い相づちをうつと無口な方でもどんどん話をするようになると言われた。
 - 「もっと聞かせて」「それで?」「そうなんだ」など、家庭内でも必要だと感じた。
- ◎ボランティアよりも近所づきあいの方がきめ細かいフォローができる話に、ご近所さんの顔が思い浮かびました。
 - ・・・などなど、いつにも増してレポートの内容が豊かでした。

市民協働とは? 市民と行政の新しい関係を指しますが、では、進行しているのでしょうか?

“市民協働シンポジウム”にあかりが依頼を受け、山本勝子氏(日福大知多半島総合研究所 副所長)の『協働のまちづくり』の講演会の後で竹田代表が山本勝子氏・辻孝二郎氏(INAXライブミュージアム館長)・山田朝夫氏(常滑市参事)とともにパネリストとして「協働のあり方と協働のルール」について、パネルディスカッションで発言し、以下は、その要旨をまとめたものです。

★ひとつは傾聴ボランティアの活動について

傾聴とは、相手の話しに耳を傾け心から聴く、相手の心に寄り添うボランティアです。あかりの「困った時はお互いさま」の心、相手の気持ちを考えるあたたかい心を育てることもつながる活動ですが、この活動をこれから先も地域に根付かせて行くためには行政の力がどうしても必要です。

★もう1点は移動サービスのこと

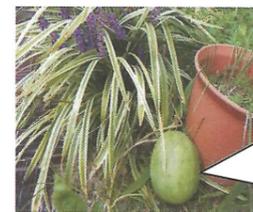
あかりの行う「福祉有償運送」は国土交通省に申請をして、介護保険の認定のある方、障害者手帳を持っている方のみの限定で、透析や通院などへの移送を中心に行っております。

買い物、文化活動などへの参加などで人同士の触れ合える場所、みんなが集える場所への参加は生きがいや意欲につながります。あかりにも買い物や公民館などに行きたいけれど歩いてはいけないので移送してほしいというような問い合わせがありますが、制度の壁が邪魔をします。

常滑のように南北に長く公共交通機関も整備されていないところでは特に巡回バスのような「市民の足」が大切になるのではないかと考えられます。

この市民協働シンポジウムが「常滑で暮らせてよかった」と心から思える街にしていくための、協働の街づくりの第1歩になればと期待を込めて、あかりからは今回2つの事をお話させていただきました。

デイハウス あかりでは。。



ご覧下さい、これは種から芽生え、実をつけた2個目のスイカです。前の1個は既に皆で美味しいと言いつつ食べて食べました。

月に1度、デイハウスあかりを訪問してくれる西浦北保育園からご案内があり、10月13日、デイハウスの面々は保育園の運動会に出かけました。

かわいい園児達の精一杯の演技や競技にお年寄りたちは大声援を送ります。それに応えて園児達も一所懸命。

お年寄りたちはうれしくなって、元気をもらって帰ってきました。



おいで屋の ある日のこと



おいで屋が年に2回、“うたの広場”になります。今回は10月12日(火)でした。“ばすてるはーと”の3人はよい声で私たちを楽しませてくれます。お客さんたちと一緒に、スタッフも掛け声をかけたり、手拍子を打ったり、大きな声を出して、なつかしい歌や民謡などをみんなであうたいました。

この日のお茶の時間のお菓子は季節感あふれる栗しぐれ。和菓子倶楽部の自信作です。今回おいでになれなかった方も、この次は、是非、お出かけになって楽しいひと時をご一緒しませんか。